

	手法	これまでの取組・現状の取組	協議事項・協議会で出された意見	今後の方向性(案)
③	<p>里塚斎場の建替・改修手法</p> <p>第2回報告済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・築35年を迎えた里塚斎場について、施設躯体や設備の耐用年数などの分析、構造上の問題点とその対応に関する調査検討を実施【2019年度】  <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの強度は建設から50年（今後15年程度）は問題ない状態であり、機械・電気設備についても大きな問題がないことを確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度に委託した里塚斎場の整備方法の結果により、改修や現地建替は休場できないことと敷地面積等の問題から難しいため、敷地外隣接地に建替える方向で検討することを報告し、了承された。 ・里塚斎場の次期整備には220～265億円程度見込まれることを報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え場所の選定 ・建て替え時期の決定 ・火葬場の規模（火葬炉数や付帯設備等）の選定 ・建て替え費用の精査
④	<p>火葬場の友引開場</p> <p>第1回協議済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・葬祭事業者数社に友引開場のメリット・デメリット等について意見を聴取 ・火葬場に対しても開場の影響について意見を聴取【ともに2019年度】 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在休場日となっている友引について、火葬件数の増加に伴う休業日翌日の火葬集中解消のため開場することが望ましいという結論となった。 ・火葬件数は時期によって変動するため、火葬が多い時期（冬季等）に開場するなど、需要に応じた開場の検討についてご意見をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友引開場の開場方法（開場日数、振替休場の設定の有無）や2斎場開場の有無の検討。 ・葬祭事業者、火葬業務従事者との調整。 ・予約システムの導入による効果の検証結果による開場日数の検討。
⑤	<p>火葬場の予約システム</p> <p>第1回協議済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システムの全国的な導入状況や、葬祭事業者への意見聴取、システム導入時のシミュレーションのほか、札幌の葬送に関する風習等を踏まえた予約枠の時間区分や設定数などに関する調査を実施【2019年度】 	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬ピークの平準化に向けた予約システム導入の必要性について説明し、導入の必要性について了承を得た。 ・混雑緩和に向けできるだけ短期間での導入を目指すようご意見をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市の火葬需要に応じた予約システムの構築に向けた検討（見積や仕様等） ・葬祭関連事業者への周知、ヒアリング
⑥	<p>火葬場の運営手法</p> <p>第2回協議済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・里塚・山口斎場のPFI導入可能性調査を実施【2020年度】 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口斎場はPFI事業により運営しているが、評価が高く現事業終了後もPFI事業の継続を検討。  <ul style="list-style-type: none"> ・委託での調査結果により、山口斎場の次期運営方法もPFI事業で行う方向で検討していることを報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口斎場の2026年度からの次期契約に向け、事業費の試算や現契約を踏まえた契約内容の再検討。 ・現契約終了に向けた検査（譲渡前検査）の実施方法の検討。
⑦	<p>火葬場の広域利用</p> <p>第4回報告予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さっぽろ連携中枢都市圏の各市町村に火葬場及び墓地に関するアンケートを実施し、現状の問題点や今後の課題等について情報を収集【2019年度】 	<p>次回部会でこれまでの取り組みを報告予定</p>	
⑧	<p>火葬場の施設整備や運用改善に係る費用</p> <p>第3回協議済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場使用料は山口斎場が供用開始した2006年度に改定し、現行の金額となっており、以後の改定は行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬炉使用料は現在市民が無料となっており、特別控室使用料は減少傾向の中で、今後の火葬場の整備に費用がかかるため火葬場使用料の料金体系を見直す方向で検討。  <ul style="list-style-type: none"> ・火葬場使用料の見直しの際の料金体系の見直しについて了承された。ただし、特別控室の利用率向上のための見直しも検討するようご意見をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・料金体系の見直しを含めた火葬場使用料の見直しの検討。 ・見直しの実施時期の検討。 ・料金体系の見直しに合わせて特別控室の使用率向上や、利用実態に合わせたサービス向上のため一部ロビー化などの検討。